システム設定マニュアル
Approach DAM
メール

目次

共用メールアカウント 3
個人アドレスの利用 7
配信停止カテゴリ 8
配信停止案内 15
ステップメール 16
メールDMサーバー 24

共用メールアカウント

ステップメールを含むメール配信やメール取込で使用する共用のメールアカウントを設定・管理します。

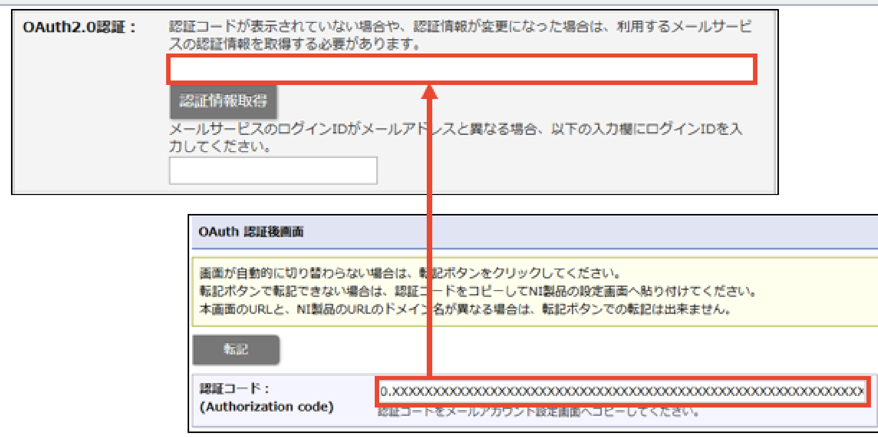
基本認証やOAuth2.0を利用するメールアカウントを設定する場合は、
「共用メールアカウントを設定する」を参照してください。

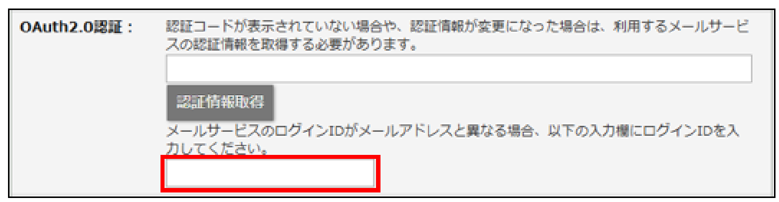
Sprinklerオプションを利用するメールアカウントを設定する場合は、
「共用メールアカウントを設定する（Sprinklerオプションを利用する場合）」を参照してください。

▶ 共用メールアカウントを設定する

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「共用メールアカウント」を選択します。
   ⇒「メール／共用メールアカウント」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックし、メニューから「メールアカウント」をクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

項目名称	説明	
共有メールID	共用メールIDは半角英数字で入力してください。	
E-Mailアドレス	メールアドレスを入力します。	
メールサーバー	登録済のメールサーバーをプルダウンメニューから選択します。	
	基本認証を利用するメールアカウントを登録する場合	
	受信ログインID	受信ログインID（アカウント名）を入力します。
	受信パスワード	受信パスワードを入力します。
	受信パスワード（確認）	確認のため、再度パスワードをコピーせず入力してください。
	POP/IMAP before SMTP	「メールサーバーの設定情報に準拠する」が標準で選択されています。 「POP/IMAP before SMTP」を利用しない場合には、「POP/IMAP before SMTP」は利用しないを選択してください。
	SMTP認証	「メールサーバーの設定情報に準拠する」が標準で選択されています。 個別に「SMTP認証」を設定する場合には、認証方式、ログインID、及びパスワードを入力してください。また、SMTP認証しない場合には、「SMTP認証」は利用しないを選択してください。
メールサーバー	**OAuth2.0を利用するメールアカウントを登録する場合**	
	OAuth2.0認証	認証コードおよび必要に応じてログインIDを入力します。 【手順】 ① 設定するメールアカウントのメールアドレスを入力後、「認証情報取得」ボタンをクリックします。 ※設定するメールアカウントと異なるメールアカウントでメールサービスにログインしている場合は、サインアウトしてから設定してください。 ※メールサービスのログイン画面が表示された場合は、設定するアカウントでログインします。アクセス許可を要求する画面が表示された場合は承諾してください。 ②OAuth認証後画面の「転記」ボタンをクリックし、認証コードをメールアカウント設定画面へコピーします。 ※OAuth認証後画面のURLとNI製品のURLのドメイン名が異なる場合は、「転記」ボタンでの転記はできません。 ※「転記」ボタンで認証コードを転記できない場合は、認証コードをコピーしてメールアカウント設定画面へ貼り付けてください。

<table>
<tr><th>項目名称</th><th>説明</th></tr>
<tr><td></td><td> 

③メールサービスのログインIDがメールアドレスと異なる場合は、下段にログインIDを入力してください。
（メールサービスのログインIDとメールアドレスが同じ場合は、空欄のまま保存してください）


※認証コードの有効期限が短いため、取得およびメールアカウント設定後は速やかにメールの送信または受信を行なってください。</td></tr>
<tr><td>使用制限</td><td>使用制限する社員を選択してください。

※（送,－）送信だけ制限されています。
※（－,受）受信だけ制限されています。</td></tr>
<tr><td>登録者</td><td>登録者が表示されます。</td></tr>
<tr><td>更新者</td><td>更新者が表示されます。</td></tr>
</table>

▶ 共用メールアカウントを設定する（Sprinklerオプションを利用する場合）

補足

- Sprinklerオプションを利用した共用メールアカウントを設定するためには、Approach DAM Sprinklerオプション契約が必要です。オプション契約については、弊社営業担当までお問合せください。
- 本設定をする前にメールDMサーバー設定で、配信元認証を設定してください。E-Mailアドレスを登録するさいに配信元としてドメイン認証が必要となります。配信元認証の設定方法は以下のマニュアルをご参照ください。
  ［参照］：メール設定マニュアル

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「共用メールアカウント」を選択します。
   ⇒「メール／共用メールアカウント」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックし、メニューから「Sprinkler用アカウント」をクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

項目名称	説明
配信サーバー	「Sprinkler」が表示されます。
共用メールID	共有メールアカウント一覧で区別するために設定します。 共用メールIDは半角英数字で入力してください。 ※#（半角シャープ記号）は利用できません。 入力例）Seminar.info
E-Mailアドレス	ステップメールを含むメール配信で使用するメールアドレスを入力します。 入力例）xxxxx@nixxx.co.jp
配信停止機能（初期値）	このメールアカウントを使いメール配信するときの配信停止機能を設定します。プロモーションメールを送信する場合、配信停止（オプトアウト）の記載が必要です。 メールアカウントと配信停止カテゴリを紐づけることで、配信停止案内が自動挿入され記載漏れを防ぐことができます。 詳細は、「配信停止カテゴリ」をご確認ください。

個人アドレスの利用

個人用のメールアドレスをメール配信で利用するための設定を行います。
利用を許可した場合、配信情報の「配信アドレス」の項目に「個人アドレス」という選択肢が表示されます。

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「個人アドレスの利用」を選択します。
   ⇒「メール／個人アドレスの利用」画面が表示されます。
2. 利用設定の項目で「利用する」を選択します。
3. 入力候補または選択ボタンより個人アドレスを利用できる部署、役職、社員を選択します。
4. 最後に「保存」ボタンをクリックします。

Hint

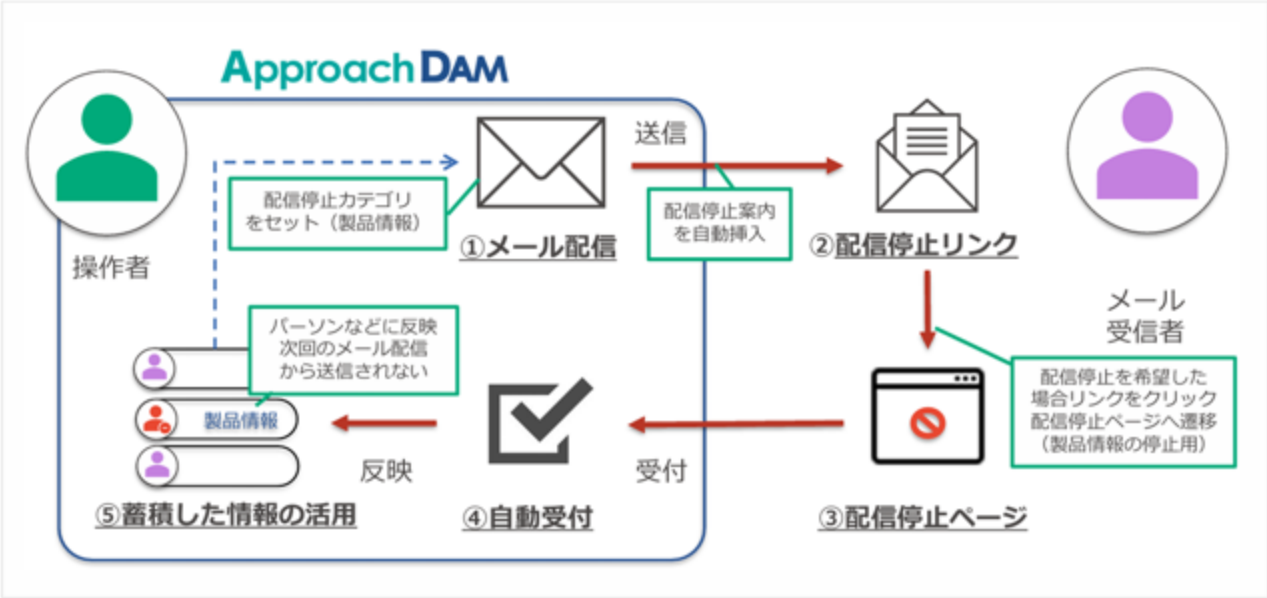
- 利用可能者が未設定の場合は、全社員が個人アドレスを利用可能になります。
- 個人用のメールアドレスとして利用できるのは、配信元認証で設定済みのドメインのみです。
  システム設定「基本設定 ＞ 社員／社員一覧」かオプション設定「メール／メールアカウント」で登録したメールアドレスのうち、配信元認証で設定したドメインと一致するメールアドレスがメール配信に利用できるようになります。
  利用可能者の設定に該当する社員でも、配信元認証と一致するメールアドレスを所有していない場合は利用できません。

配信停止カテゴリ

■配信停止機能とは

プロモーション（広告・宣伝）目的のメールを配信する場合、特定電子メール法に基づき配信停止を希望した人にメールを送信しないよう管理する必要があります。配信停止機能は配信停止の管理および受付を自動で行うための機能です。
配信停止機能を使用すると以下の仕組みが実現できます。

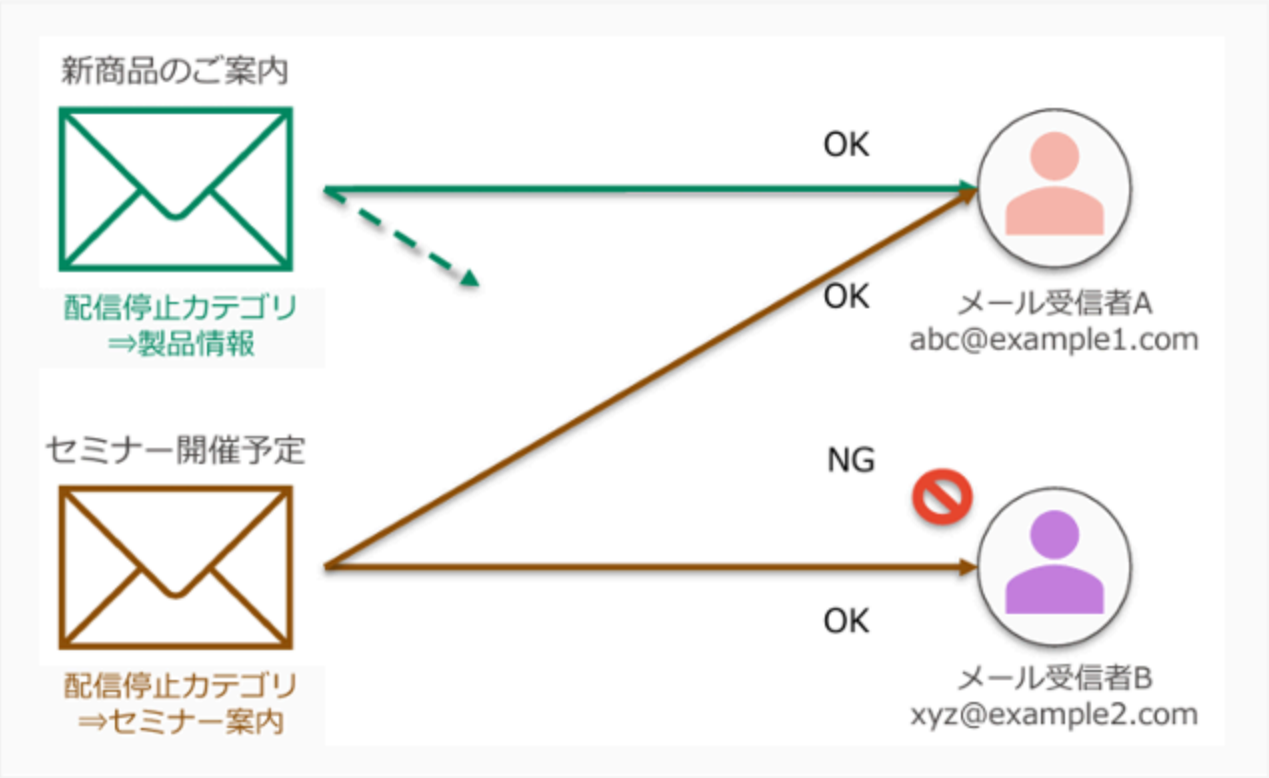
1. メールの種類（配信停止カテゴリ）とメール受信者ごとに配信停止を管理できます。
2. メール本文に配信停止ができる旨の記載漏れを防ぐために、配信停止案内（URL）が自動挿入されます。
3. メール受信者は配信停止ページから配信停止（オプトアウト）操作ができます。
4. 自動的に配信停止の処理を受け付け、パーソン情報（または顧客情報）に反映します。
5. 配信停止されると次回のメール配信から同じカテゴリのメールを送信しません。



配信停止を管理するためには、準備として、①配信停止カテゴリ、②配信停止案内、の準備が必要です。

■配信停止カテゴリとは

配信停止を管理したいメールの種類です。プロモーション目的のメール、会員限定のメルマガなど、複数のカテゴリで管理できます。メール配信するときにセットして使用し、配信停止ページでメール受信者に公開されます。配信停止された場合はパーソン情報（または顧客情報）単位で情報が保存され、同じカテゴリのメールが送信されないように管理されます。



補足

- Sprinklerオプションを導入している場合にご利用いただけます。

▶ 配信停止カテゴリを登録する

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「配信停止カテゴリ」を選択します。
   ⇒「メール／配信停止カテゴリ」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

項目名称	説明
配信停止カテゴリ	メール受信者が分かりやすい名称を20文字以下で入力してください。 例）メルマガ、製品案内
説明	メール受信者が分かりやすい説明を40文字以下で入力してください。 例）製品の最新情報を毎週1回お届けするメールです。

補足

- 配信停止カテゴリは、最大20件まで登録できます。
- 同じ名称での登録はできません。

■配信停止ページについて

メール本文内の配信停止リンクから配信停止ページが開きます。
上記で登録した配信停止カテゴリおよび説明は、Twilio SendGrid, Inc.が提供する配信停止ページに反映されます。Twilio SendGrid, Inc.が提供しているページを利用しているため、見た目の調整は行えません。



- 説明文にはメールに紐づく配信停止カテゴリのみが表示され、そのカテゴリの配信停止（オプトアウト）操作ができます。
- 「Opt-Out of All Emails」が選択された場合でも、メールに紐づく配信停止カテゴリの停止として扱います。すべてのメールを配信停止として受付したい場合、自動作成された配信停止受付の情報を参照して別途対応してください。配信停止カテゴリの数が増え過ぎて運用に支障が生じないよう、カテゴリの設定を工夫していただくようお願いします。

▶ 配信停止カテゴリを更新する

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「配信停止カテゴリ」を選択します。
   ⇒「メール／配信停止カテゴリ」画面が表示されます。
2. 編集したい配信停止カテゴリを選択します。
   ⇒編集画面が表示されます。
3. 必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

項目名称	説明
配信停止カテゴリ	メール受信者が分かりやすい名称を20文字以下で入力してください。 例）メルマガ、製品案内
説明	メール受信者が分かりやすい説明を40文字以下で入力してください。 例）製品の最新情報を毎週1回お届けするメールです。

▶ 配信停止カテゴリを削除する

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「配信停止カテゴリ」を選択します。
   ⇒「メール／配信停止カテゴリ」画面が表示されます。
2. 編集したい配信停止カテゴリを選択します。
   ⇒編集画面が表示されます。
3. 「削除」ボタンをクリックします。

補足

- 以下の条件に該当する場合、配信停止カテゴリを削除することはできません。
    1. 60日以内のメール配信で該当する配信停止カテゴリが利用されている場合
    2. 配信が予約されている場合
    3. ステップメールで該当の配信停止カテゴリが使用されている場合

▶ 配信停止カテゴリを並べ替えする

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「配信停止カテゴリ」を選択します。
   ⇒「メール／配信停止カテゴリ」画面が表示されます。
2. 「並べ替え」ボタンをクリックします。
3. 配信停止カテゴリの並べ替えをします。
4. 最後に「保存」ボタンをクリックします。

配信停止案内

配信停止案内とは、配信停止機能を使用してメールを配信する際に適用される案内文です。
なお、メールの本文に配信停止URLが含まれていない場合は、文末に配信停止案内が自動的に挿入されます。

▶ 配信停止案内を登録する

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「配信停止カテゴリ」を選択します。
   ⇒「メール／配信停止案内」画面が表示されます。
2. 必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

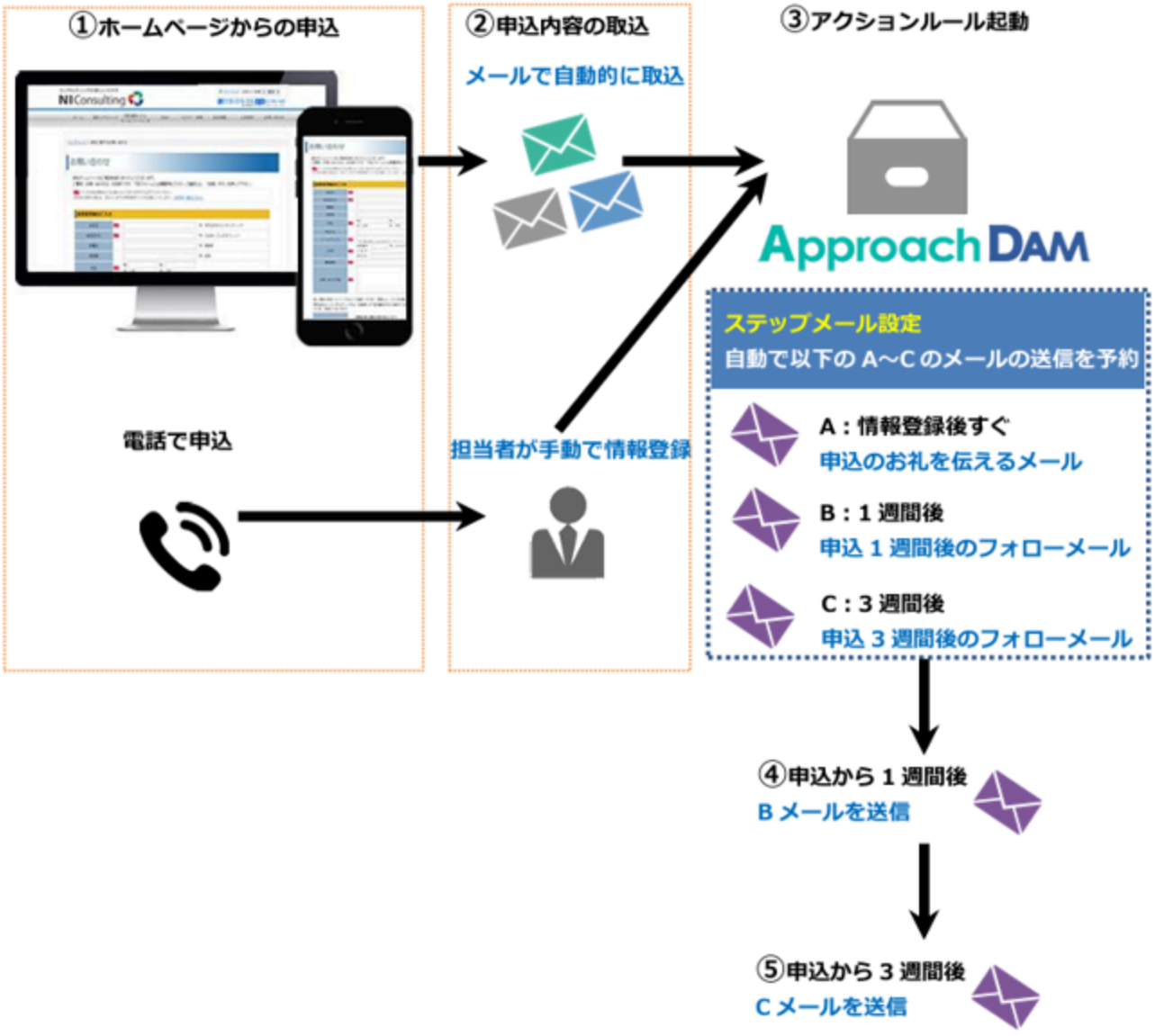
項目名称	説明
HTML形式	配信停止URLの予約語「@UNSUBSCRIBE_URL@」を含めてください。 リンクのURLにも予約語を利用できます。
テキスト形式	配信停止URLの予約語「@UNSUBSCRIBE_URL@」を含めてください。

補足

- メール本文に配信停止案内の文書を挿入するには、
  予約語「@UNSUBSCRIBE_TEMPLATE@」をメール本文に含めてください。
- 配信停止案内には、配信停止URLの予約語「@UNSUBSCRIBE_URL@」のみ利用できます。
- Sprinklerオプションを導入している場合にご利用いただけます。

ステップメール

ステップメールとは、あらかじめ設定しておいた条件に合致したときに、複数のメールを自動配信する機能です。
例えば、ホームページや電話でイベント等の申込を受け付けたとき、引合情報の発生をトリガーにして、その後定期的にフォローメールを送信することができます。
作成されたステップメールの設定は、システム設定「アクションルール／アプローチ情報登録アクションルール」を使って自動的に送信を予約できるほか、顧客情報・パーソン情報の情報登録ボタンから手動予約することもできます。



▶ ステップメールを設定する

1. システム設定の「Sales Force Assistant」タブより「**メール**」の「ステップメール」を選択します。
   ⇒「メール／ステップメール」画面が表示されます。
2. 「新規登録」ボタンをクリックします。
   ⇒新規登録画面が表示されます。
3. 必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。

項目名称	説明
名称	名称を入力します。
有効	「有効」か「無効」を選択します。
配信禁止時の処理	「送信対象が配信禁止の場合は送信しない」「送信対象が配信禁止の場合でも送信する」を選択します。
送信サーバー	登録済の送信サーバーを選択します。
送信アドレス	登録済の送信アドレスを選択します。 ⇒「共用メールアカウント設定を設定する」を参照してください。
送信者名	送信者名を入力します。
宛先名	宛先名を入力します。
メールトラッキング	メールの開封・URLのクリックをトラッキングする場合、チェックを入れます。 ※送信サーバーにSprinklerを選択している場合に利用できる項目です。
Webトラッキング	Webサイト内での行動履歴を取得する場合、チェックを入れます。 メールトラッキングでは、メール本文から開いた最初の1ページしかトラッキングできませんが、Webトラッキングはその後のページ遷移などもトラッキングすることができます。 ※システム設定「Webトラッキング／基本設定」で利用する設定になっている場合にのみ表示されます。
配信停止機能	プロモーションメールの場合は利用を推奨します。 メール配信時に配信停止カテゴリと紐づいた配信停止案内が付与されます。 メール受信者からの配信停止（オプトアウト）を自動で受付し、配信停止した宛先には同じカテゴリのメールを送信しません。
重複チェック	重複チェックを利用する場合、チェックをいれます。
シナリオ中止条件	
条件一致	設定した対象について 「すべての条件に一致する」あるいは「いずれかの条件に一致する」を選択します。
対象	条件を設定します。 ⇒詳細は、「シナリオ中止条件」を参照してください。
値	
条件	
シナリオ　※最大20ステップまで登録可能です。	
有効	「有効」か「無効」を選択します。
送信タイミング	「即時送信」か「日をあけて送信」を選択します。 ※「日をあけて送信」 ・即時を選択可能なのは最初のステップのみになります。2番目以降のステップは順序と予約日

項目名称	説明
	でのソートが一致するように入力チェックします。 ・「遅延許可日数」は1~7日で設定可能です。
テンプレート	テンプレートを選択します。

▶ シナリオ中止条件

シナリオ中止条件とは、送信先の顧客情報・パーソン情報に基づいて、以降の送信予約を中止するための機能です。例えば、一定以上の顧客ランクになった場合はそれ以降のステップメールが不要といったシーンで利用します。シナリオ中止条件は、次のメールを送信するタイミングで都度判定されます。

顧客・パーソン情報ではなく、引合情報の進捗度などを基準にして中止したい場合は、システム設定「アクションルール／アプローチ情報登録アクションルール」で「ステップメールの送信予約を取り消す」というアクションを設定して対応します。

以下はシナリオ中止条件で指定できる項目の一覧です。

顧客情報

対象名称	値	説明
レイアウト	レイアウト名	条件となるレイアウト名にチェックを入れます。
顧客名 顧客名（かな） 表示用顧客名	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
上位会社	顧客選択	入力候補または選択ボタンより対象となる顧客を選択します。
顧客ランク	顧客ランクキーワード	条件となる顧客ランクキーワードにチェックを入れます。
顧客コード 法人番号	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
月基準訪問回数	数値	条件となる月基準訪問回数を入力します。
訪問周期	数値	条件となる訪問周期を入力します。
当社担当者 サブ担当者	社員選択	入力候補または選択ボタンより対象となる社員を選択します。
面談者	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
顧客地域	顧客地域キーワード	条件となる顧客地域キーワードにチェックを入れます。
郵便番号 住所 ビル名等 TEL FAX URL	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
企業業種	企業業種キーワード	条件となる企業業種キーワードにチェックを入れます。
引合要因	引合要因キーワード	条件となる引合要因キーワードにチェックを入れます。
資本金	数値	条件となる資本金を入力します。
年商	数値	条件となる年商を入力します。
決算月	月	条件となる月にチェックを入れます。

対象名称	値	説明
決算月お知らせ	決算月お知らせチェック	※アシスタント機能導入の場合のみ表示 決算月お知らせかチェックを入れます。
創立日	日付	創立日をyyyy/mm/ddの形式で入力するか、  カレンダーより日付を選択します。
創立日お知らせ	創立日お知らせチェック	※アシスタント機能導入の場合のみ表示 創立日お知らせかチェックを入れます。
創立日備考	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
従業員数	数値	条件となる従業員数を入力します。
口座開設日	日付	口座開設日をyyyy/mm/ddの形式で入力するか、  カレンダーより日付を選択します。
企業評価点 与信限度額	数値	条件となる数値を入力します。
決済方法	決済方法キーワード	条件となる決済方法キーワードにチェックを入れます。
決済備考	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
回収ランク	回収ランクキーワード	条件となる回収ランクキーワードにチェックを入れます。
情報	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
CV	数値	※顧客創造R、顧客深耕Rを導入時のみ表示 条件となるCVを入力します。
メール配信全停止	メール配信全停止チェック	メール配信全停止かチェックを入れます。
備考	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。

パーソン情報

対象名称	値	説明
レイアウト	レイアウト名	条件となるレイアウト名にチェックを入れます。
氏名（姓） 氏名（名） 氏名かな 表示用氏名（姓） 表示用氏名（名）	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
パーソンランク	パーソンランクキーワード	条件となるパーソンランクキーワードにチェックを入れます。
パーソンコード 役職 TEL FAX 携帯番号 E-Mail その他	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
訪問周期	数値	条件となる訪問周期を入力します。
パーソナリティ	パーソナリティキーワード	条件となるパーソナリティキーワードにチェックを入れます。
顧客名	顧客選択	入力候補または選択ボタンより対象となる顧客を選択します。
所属名 郵便番号 住所 ビル名等 URL	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
当社担当者	社員選択	入力候補または選択ボタンより対象となる社員を選択します。
自宅TEL 自宅郵便番号	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。

対象名称	値	説明
自宅住所 ビル名等		
誕生日	日付	創立日をyyyy/mm/ddの形式で入力するか、  カレンダーより日付を選択します。
誕生日お知らせ	誕生日お知らせチェック	※アシスタント機能導入の場合のみ表示 誕生日お知らせかチェックを入れます。
出身地 出身校 趣味・嗜好 職歴 家族情報	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。
年賀・暑中見舞	年賀・暑中見舞チェック	条件となる年賀・暑中見舞にチェックをいれます。
送付先	送付先チェック	条件となる送付先にチェックをいれます。
中元・歳暮	中元・歳暮チェック	条件となる中元・歳暮にチェックをいれます。
送付先	送付先チェック	条件となる送付先にチェックをいれます。
メール配信禁止	メール配信禁止チェック	メール配信禁止かチェックを入れます。
備考	テキスト入力	条件となるキーワードをテキスト入力します。 複数の場合は、改行して入力します。

補足

- 顧客深耕AO導入の場合、顧客深耕AOの独自項目（対象業務など）を対象に設定できます。
  設定方法について上記を参考にしてください。

メールDMサーバー

メール配信に必要な配信サーバーとの連携を設定・管理します。

▶ 配信サーバーの種類

配信サーバーには「Sprinklerオプション」と「メールDMサーバー」の2種類があります。
大量のメールを一括配信でき、セキュリティ対策が標準実装されたSprinklerオプションの利用をおすすめします。

配信サーバーの機能の違い

項目	Sprinklerオプション	メールDM専用サーバー
利用契約の有無	Sprinklerオプション契約が必要	Approach DAMの標準機能
メールDM用サーバー構築	サーバー構築は不要	メールDMサーバー用端末の構築とソフトウェアのインストールが必要
利用準備	配信元の認証設定が必要 セキュリティ対策を標準搭載（DNS設定）	メールDMサーバーとの連携設定が必要
配信元(from) 貴社保有のメールアドレス	配信元認証で認証された送信専用のメールアドレス	メール送信（SMTP）設定したメールアドレス
配信元(from) 無料のメールアドレス	貴社が保有しているドメインのみ @gmail.comなどは利用不可	メール送信（SMTP）設定したメールアドレス
実際のメール配信サーバー	SendGrid ※Web APIを中継して送信	貴社が利用中のメールサーバー （レンタル or 自社構築） ※メールDMサーバーを中継して送信
時間あたりの配信数	制限なし 同一時刻に2万通の配信も可能。 SendGridの強力なインフラを利用。	利用するメールサーバー次第 レンタルサーバーの場合、1時間 1,000通など、一定以上送信すると送信制限にかかり配信停止される可能性があります。（契約先に確認ください） 配信速度の設定：最大500通/10分
セキュリティ対策	なりすまし対策が標準で設定されます。 （SPF、DKIM）	独自で設定する必要があります。
メールトラッキング機能	開封やクリックのトラッキングが可能。	利用できません。
Webトラッキング機能	メール内のURLをクリックしたユーザーの、Webサイト内での行動履歴をトラッキング可能。	メール内のURLをクリックしたユーザーの、Webサイト内での行動履歴をトラッキング可能。
配信停止機能	配信停止案内（URL）をメールに付加、配信停止ページから自動的に受付	手動で登録する必要があります。
無効アドレスの自動フィルタリング	自動でフィルタ登録されます。 リストクリーニング機能あり。	手動で登録する必要があります。

▶ 配信サーバーの設定

配信サーバーの種類によって設定内容が異なります。

- **Sprinklerオプション**
  配信で利用するドメインの認証（配信元認証）が必要です。
  詳しくは「Sprinklerオプション 設定マニュアル」を参照してください。
- **メールDMサーバー**
  サーバーまたはPCへのメールDMサーバーのインストールと、Approach DAMとの連携設定が必要です。詳しくは以下のマニュアルを参照してください。
  メールDMサーバー構築マニュアル
  メールDMサーバーセットアップマニュアル
  メールDMサーバー連携設定マニュアル

▶ メール取込のための設定

Approach DAMには、HPから来た資料請求や問い合わせ等のデータをメールとして取り込む機能（メール取込機能）があります。メールの取り込み方法には、NI Collabo 360のメール機能を利用する方法と、メールDMサーバーを利用する方法があります。

NI Collabo 360を利用する場合

NI Collabo 360には、個人で利用する「個人メール（社外メール）」と、複数人でアカウントを共有して利用する「共有メール」の２つのメール機能があります。どちらの機能でも、アカウントの設定画面で「メール取込機能を使用する」を選択することで、受信したメールが自動的に取り込まれるようになります。
※NI Collabo 360を利用する場合、メール取込機能ではメールDMサーバーは利用しません。



NI Collabo 360の設定手順は以下の通りです。

メールサーバーの登録
システム設定「基本設定 ＞ メール／メールサーバー」から、メール取込で受信するメールアドレスのサーバー情報を登録します。具体的な手順は「メール ＞ メールサーバー」を参照してください。

メールアカウントの登録
個人メール（社外メール）を利用する場合は「メールのオプション設定 ＞ アカウント設定 」を参照してください。
共有メールを利用する場合は「共有メールアカウントを登録、使用停止、削除」を参照してください。
※どちらの機能を利用する場合も、アカウント設定画面で『「メール取込機能」を使用する』を選択してください。

メールDMサーバーを利用する場合

任意のメーラーを利用してメールを受信した際に、Approach DAMにメールを取り込むことができます。
メールをメールDMサーバー経由で受信させる必要があります。

詳しくは「メール取込機能を利用するためのメール設定」を参照してください。

